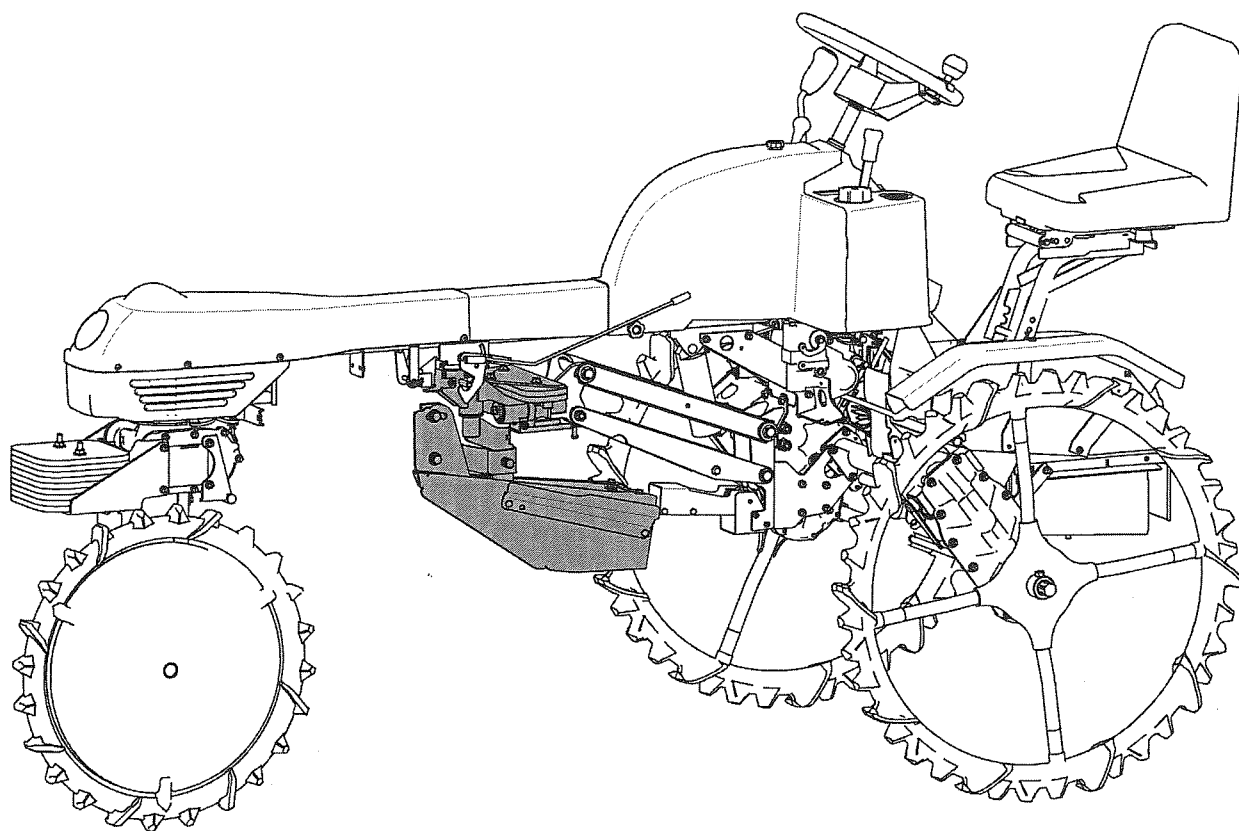


使用する前に必ずよく読んで正しく使いましょう

みのる 1 条型溝切機

MZS1 / MZT1

取扱説明書



みのる産業株式会社

## 重要安全ポイント

1. 機体を点検・整備するときは、平たんな場所で、  
必ず**エンジンを停止し、冷機状態**で行ないます。
2. 作業中は、**機械の周りに人を近づけない**ようにします。
3. 補助者と共同作業を行なうときは、**合図をし、安全を確認**します。

**この機械をお使いになるときは復唱してください。**

安全に作業していただくため、ぜひ守っていただきたい重要安全ポイントは上記の通りですが、これ以外にも本文の中で安全上ぜひ守っていただきたい事項を**!**を付けて説明しております。

よくお読みいただき、必ず守っていただくようお願いいたします。

## はじめに

- このたびは、1条型溝切機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- 本製品は、田植後に条間の溝切作業を行なうための機械です。他の用途に使用しないでください。
- 1条型溝切機（MZS1）は、乗用管理機のアタッチ商品です。1条型溝切機（MZT1）は、田植機走行部を利用した商品です。弊社指定機種（型式・区分）のみ取り付け可能です。指定機種以外の機械に取り付けての使用は絶対にしないでください。搭載可能な機種は、本書の主要諸元をご覧ください。
- この取扱説明書は、本製品を使用する際に、ぜひ守っていただきたい安全作業に関する基礎的事項、適切な状態で使っていただくための正しい運転・調節・整備に関する技術的事項を中心に構成しております。
- 本製品を初めてご使用になるときはもちろん、日頃の運転・取り扱いの前にも入念に読み、内容をじゅうぶん理解された上で、安全確実な作業を心がけてください。
- この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるように保管してください。
- 本製品を貸与または譲渡される場合は、相手の方に取扱説明書の内容をじゅうぶん理解していただき、この取扱説明書を本製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに購入先にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上のため、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、本書の内容及び、イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますが、あらかじめご了承ください。
- もし、ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく購入先にご相談ください。
- 本取扱説明書に記載した注意事項や機械に貼られた**!**の表示があるラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
- なお、**!**の表示があるラベルが破損したり、はがれた場合はお買い上げの購入先に連絡し、必ず所定の位置に貼ってください。
- 本取扱説明書では、特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項について次のように表示しています。

表示	重要度
<b>!</b> 危険	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示しております。
<b>!</b> 警告	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性のあるものを示しております。
<b>!</b> 注意	その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものを示しております。
<b>重要</b>	この項目に従わなかった場合、物的損害をこうむる恐れのあるものを示しております。 また、商品の性能を発揮させるための注意事項を説明しております。 よく読んで商品の性能を最大限発揮してご使用ください。

# 目次

<b>安全のポイント</b> -----	1
安全な作業をするために -----	1
安全表示ラベルについて -----	3
<b>保証とサービスについて</b> -----	4
<b>各部の名称と取り扱い</b> -----	5
各部の名称 -----	5
各部の取り扱い -----	6
脱着の方法 -----	8
<b>作業前点検</b> -----	10
注油箇所の点検と補給 -----	10
<b>運転のしかた</b> -----	11
移動・運搬のしかた -----	11
<b>作業のしかた</b> -----	13
ほ場の管理・作業条件について -----	13
作業前の準備 -----	13
溝切作業の手順 -----	14
旋回のしかた -----	16
<b>点検整備</b> -----	17
定期点検 -----	17
作業後の手入れ -----	18
<b>サービス資料</b> -----	19
主要諸元 -----	19
標準付属品 -----	19
主な消耗部品一覧表 -----	19
注文部品の紹介 -----	19

# 安全のポイント

## 安全な作業をするために

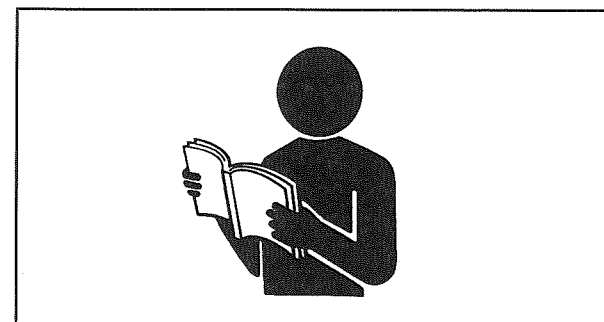
本章では、溝切機を効率よく安全にお使いいただくために、必ず守っていただきたい事項を説明しております。じゅうぶんに熟読して、安全な作業を行なってください。

また、本製品は乗用管理機または、田植機に搭載して使用しますので、本製品を搭載する走行部の「取扱説明書」も合わせてよくお読みください。

### ■運転者の条件

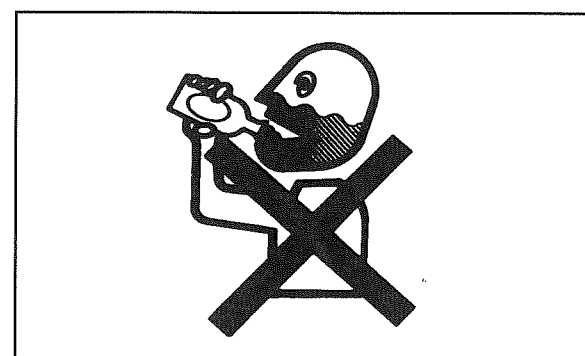
#### (1) はじめに

この『取扱説明書』をよく読むことから始めてください。これが安全に快適に作業するための第一歩です。



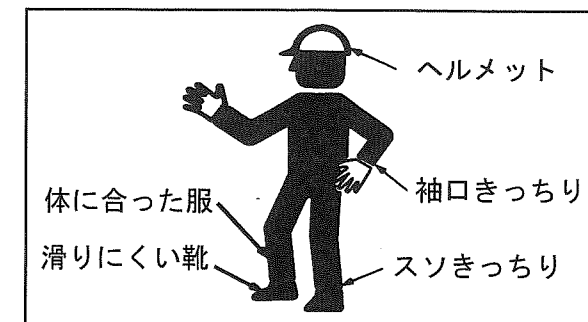
#### (2) 体調について

飲酒時や過労ぎみのときは作業を行なってはいけません。このようなときに作業を行なうと、誤操作などで思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。作業を行なうときは、必ず心身とも健康な状態で行なってください。



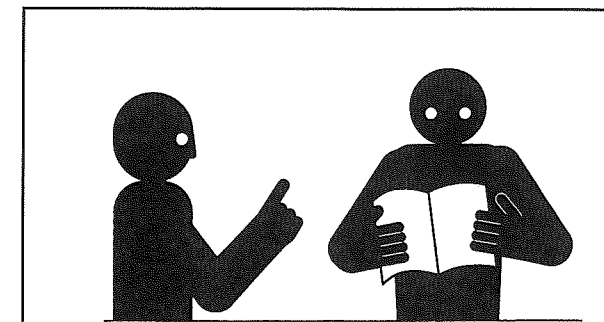
#### (3) 服装について

作業にあったキチンとした作業着を着用してください。だぶついた服装は、回転部に巻き込まれやすく危険です。ヘルメット・滑りにくい靴を着用し、必要に応じて安全靴・保護メガネ・手袋などを着用してください。



### ■人に機械を貸すときは

本製品を人に貸すときは、取扱方法をよく説明し使用前に取扱説明書を熟読するように指導してください。借りた人が本製品の扱いに不慣れなため、思わぬ事故を引き起こすことがあります。



■作業を開始する前に

(1) 無理のない作業計画で

無理のないゆとりある作業計画を立てましょう。無理な作業計画は、あせりなどから思わぬ事故を引き起こすことがあります。

(2) 日常点検について

作業する前に、この取扱説明書を参考に必要な点検・注油は必ず行なってください。点検を怠ると、作業中の思わぬ事故につながります。

■作業中の注意

気象条件などに注意して、作業実施の判断・作業方法や装備(服装)の選択にじゅうぶん配慮してください。

(1) 作業中は、周囲の人に注意

(特に子供が近づくのは危険)

作業中は、作業員以外の人を本製品に近づけてはいけません。本製品自体や作業による飛散物等で傷害事故を引き起こす恐れがあり大変危険です。

(2) 作業開始時は、声をかけあって

作業を開始するときは周囲の安全を確認し、特に補助者とともに作業するときは、声をかけあって行ってください。これを怠ると傷害事故の原因になり大変危険です。

■点検・整備時の注意

(1) 定期点検について

取扱説明書にしたがって定期点検をしてください。これは本製品を長持ちさせるとともに、安全で効率的な作業を行なうために必要です。

(2) 点検・整備は明るく広い場所で

点検・整備するときは、明るく平坦な広い場所で行なってください。これを怠ると思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。

(3) 点検・整備時はエンジンを停止

点検・整備するときは必ずエンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、本製品を作業部固定フックで吊り下げるか、最下降位置で行なってください。これらを怠ると手や衣服が巻き込まれたり、はさまれたりして大変危険です。

(4) 点検・整備は適正な工具で

点検・整備を行なうときは、適正な工具を正しく使用して行ってください。これを怠ると、整備中の傷害事故や整備不良による思わぬ事故を引き起こし、大変危険です。

(5) 機械の改造は厳禁

指定以外のアタッチメントの取り付けや改造は絶対にしてはいけません。本製品や搭載機の故障や事故の原因になり大変危険です。

■廃棄物の取り扱い注意

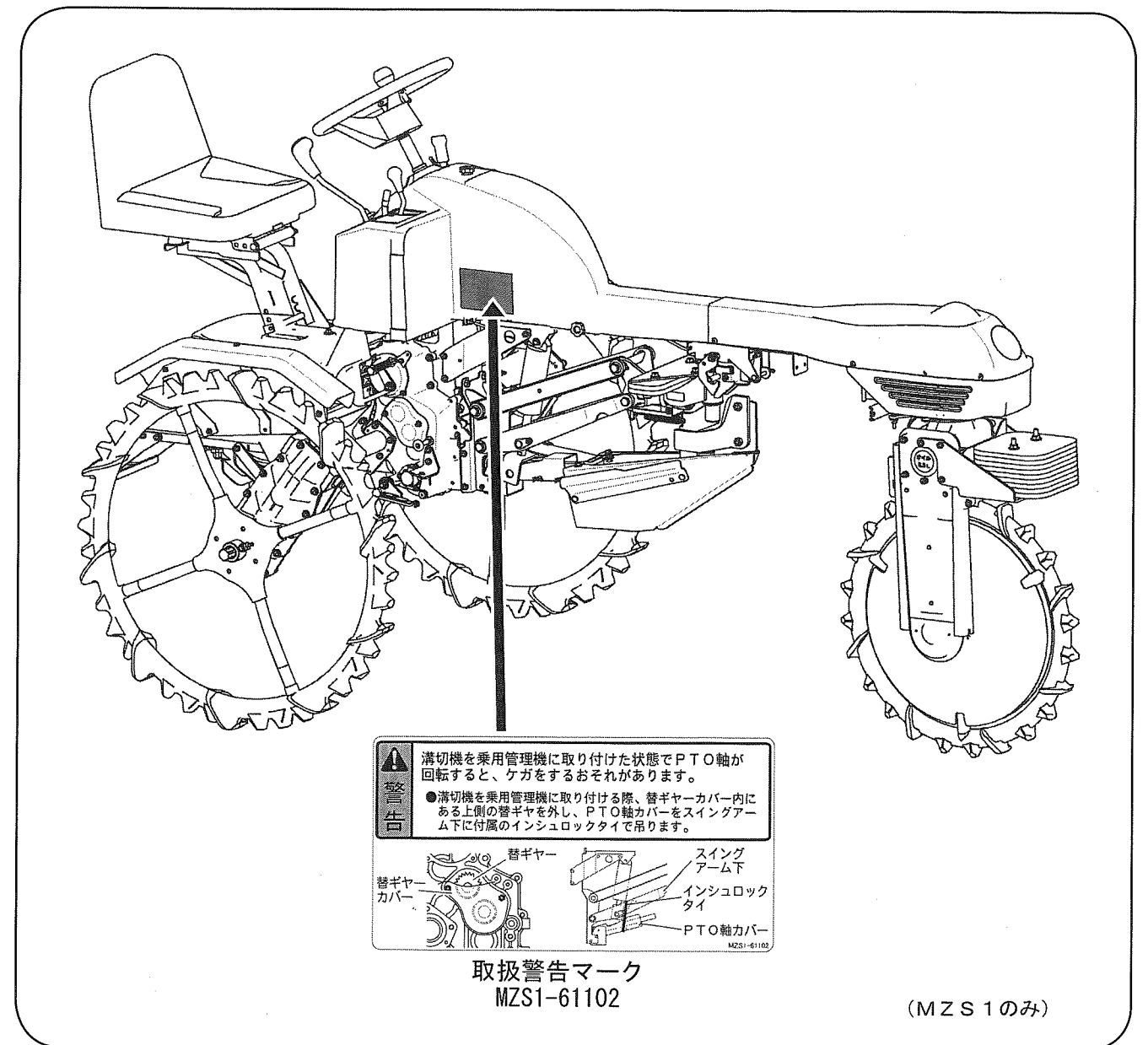
(1) 廃棄・焼却時は相談を

廃棄または焼却するときは、購入先または産業廃棄物処理業者などに相談して、所定の規則にしたがって処理してください。

安全表示ラベルについて

- 1条型溝切機(MZS1)には、安全に作業していただくため、安全表示ラベルを付属しております。組立要領書に従って、所定の位置に貼り付けてください。また、必ずよく読んで、これらの指示にしたがってください。
- 安全表示ラベルが破損したり、はがれたり、読めなくなった場合は、購入先に連絡し必ず所定の位置に貼ってください。
- 泥などがついた場合は、きれいにふきとり、いつでも読めるようにしてください。
- 安全表示ラベルが貼付してある部品を交換する場合、同時に安全表示ラベルも購入先にご注文ください。

安全表示ラベル貼付位置



# 保証とサービスについて

## ■商品の保証

この商品には、保証書が添付されています。詳しくは保証書をご覧ください。

## ■サービスネット

### 警告

●機械の改造は危険ですので、絶対にしないでください。改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。

ご使用中の故障や不審な点およびサービスに関するご用命は、購入先にお気軽にご相談ください。

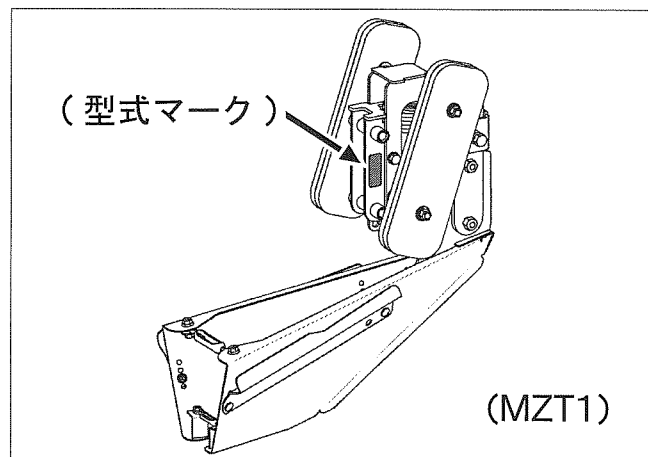
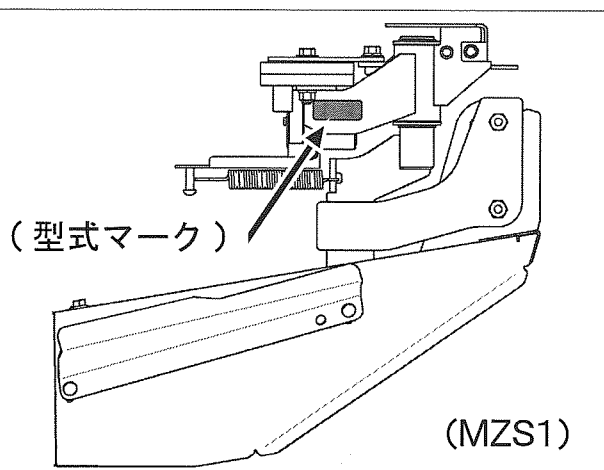
その際 (1) 型式名および製造番号  
(2) 本製品を搭載した走行部の区分

をあわせてご連絡ください。

(型式マーク)

型式

製造番号



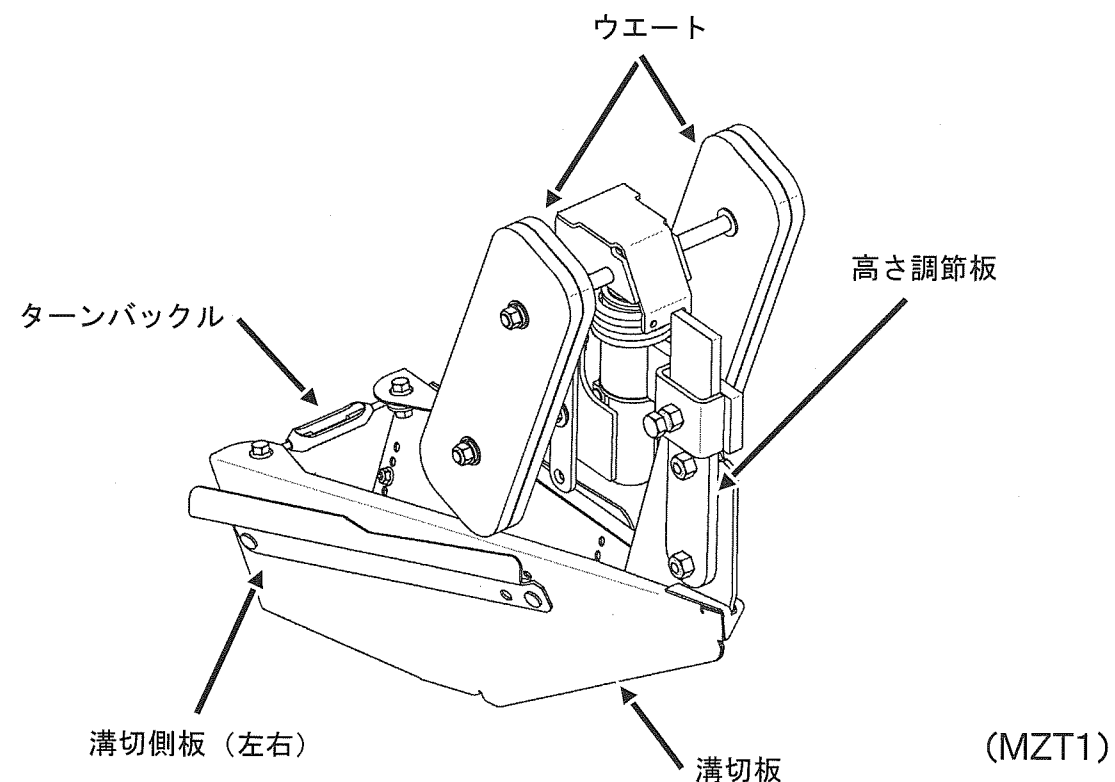
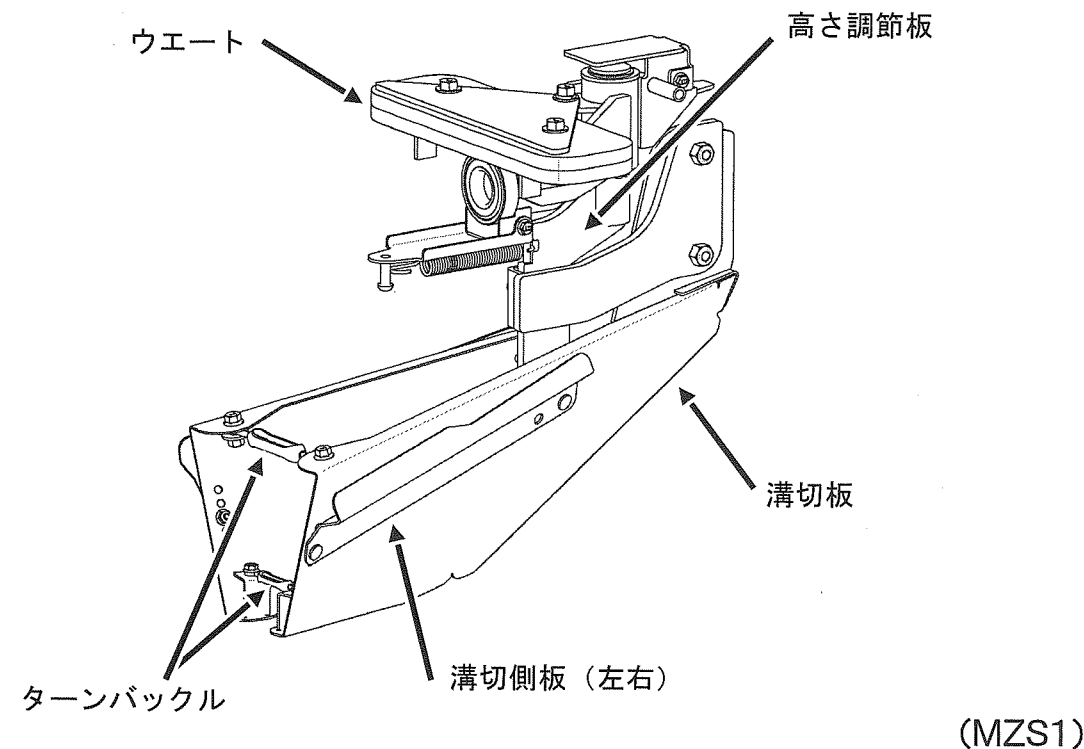
## ■補修用部品供給年限について

この商品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

# 各部の名称と取り扱い

## 各部の名称



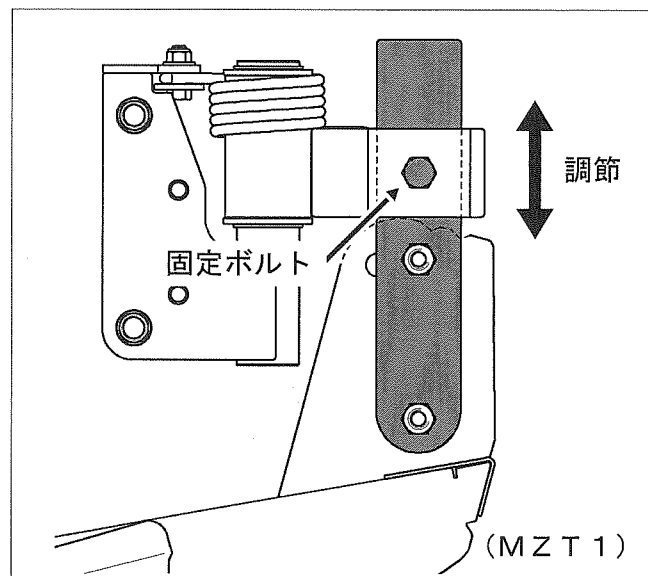
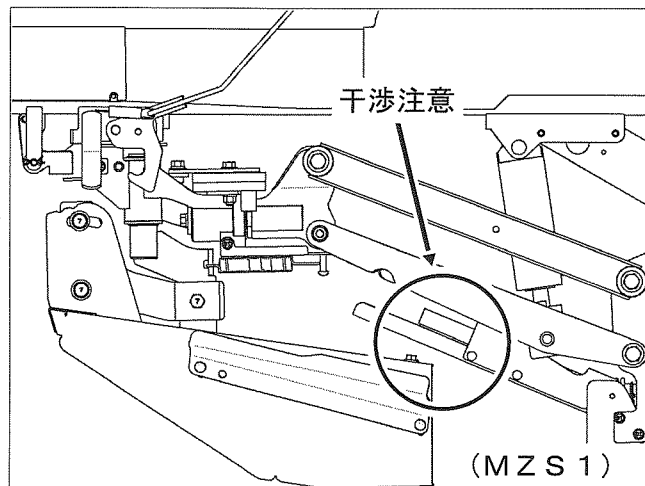
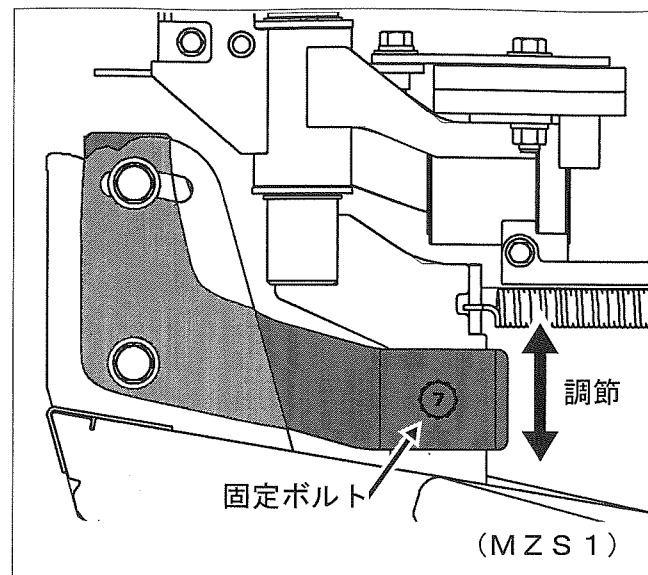
各部の取り扱い

■溝切板の高さ調節

- (1) 溝切板の高さをほ場条件に合わせて調節するとき 사용합니다。
- (2) 固定ボルトをゆるめ、高さを調節した後、ゆるめたボルトを締め付けます。

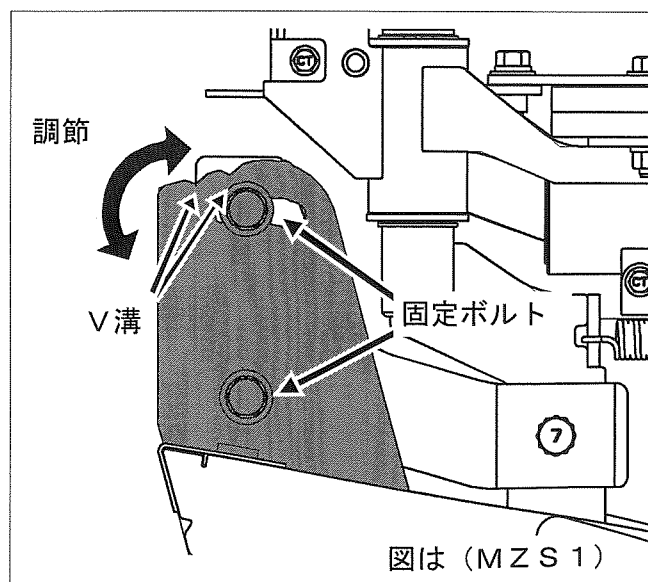
重要

- 溝切板を高い位置で固定した場合は、スイングを上下させた時に、溝切部とPTO軸カバーが干渉しないか確認してください。MZT1の場合は溝切部とスイングアームが干渉しないか確認してください。干渉する場合は、溝切板の高さを低くする。または、下記角度調節を行ってください。



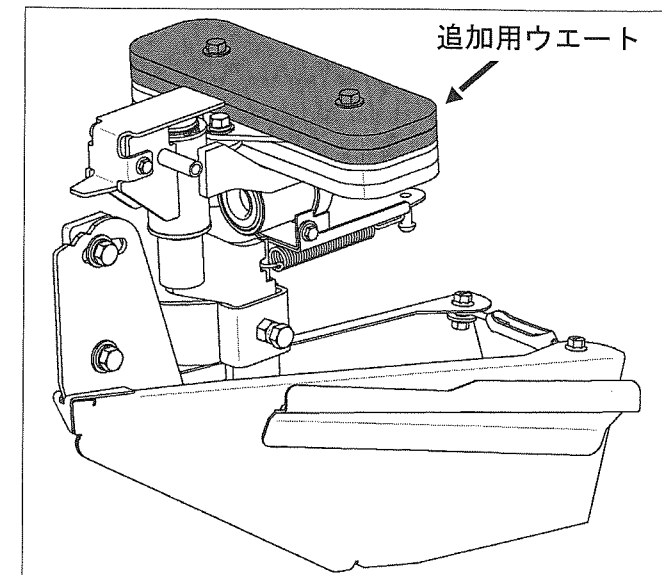
■溝切板の角度調節

- (1) 溝切板の角度をほ場条件に合わせて調節するとき 사용합니다。
- (2) 固定ボルト (2カ所) をゆるめます。
- (3) 溝切板のV溝を目安にして、回転させます。
- (4) 固定ボルトを締め付けます。



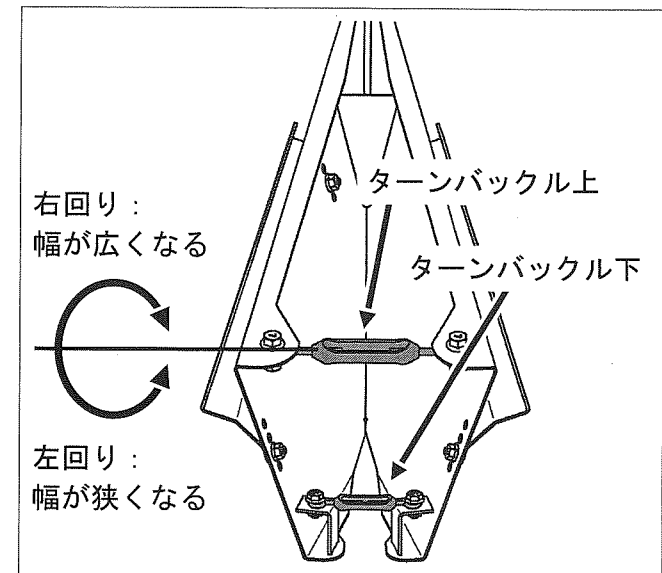
■ウエートの調節

- (1) 成形溝が浅い場合にウエートを追加します。(MZS1のみ最大2枚まで追加可能)
- (2) 追加用のウエート、ボルトは、オプション部品をご覧ください。
- (3) ボルト (2カ所) を外し、ウエートを追加します。ボルトはオプション用の長いボルトに組み替えます。



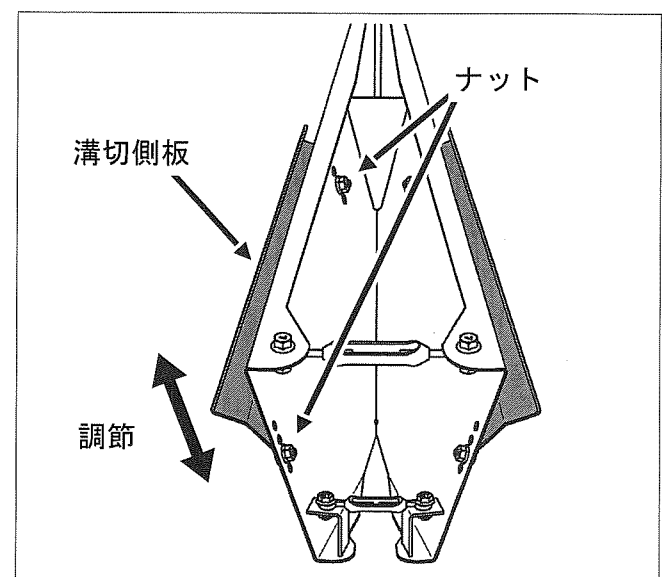
■溝切板の幅調節

- (1) 溝切板の幅を条間の間隔・ほ場条件によって調節するとき 사용합니다。
- (2) ターンバックルを回転させて幅を調節します。



■溝切側板の高さ調節

- (1) 成形溝の深さを調節するとき 사용합니다。
- (2) ナットをゆるめます。
- (3) 溝切側板のネジ部を希望する高さの穴に差し込みます。
- (4) ナットを締め付けます。

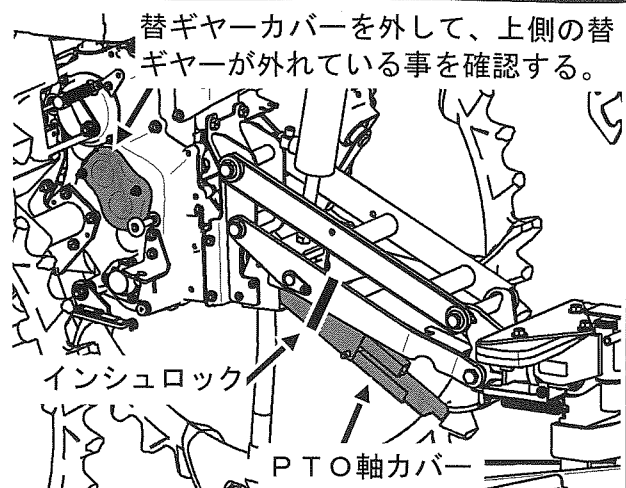


脱着の方法

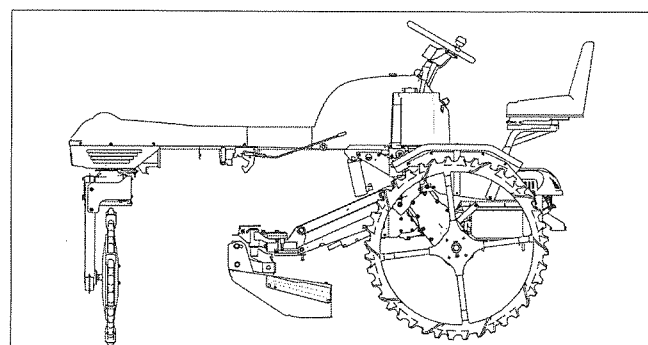
■ 1 条型溝切機の取り外し方・組み付け方 (MZ S 1 の場合)

**警告**

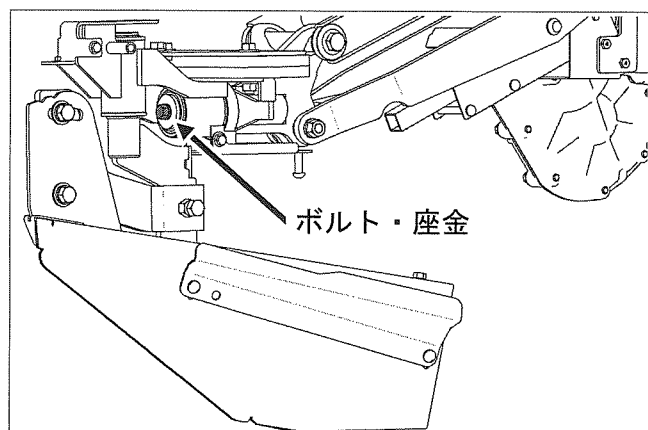
- 除草機からの組み換えの際は、替ギヤカバー内にある上側の替ギヤを外し、PTO 軸カバーをスイングアーム下に付属のインシュロックタイで PTO 軸カバーが軽く動く程度に吊ります。
- 替ギヤを取り外さずに溝切機を搭載した走行部の PTO クラッチを「入」にしないでください。ケガや機械の破損の原因になります。



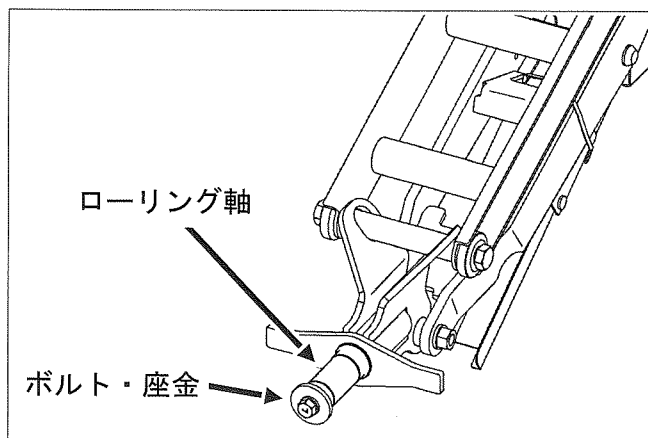
- (1) エンジンをかけて油圧レバーを操作し、溝切機を下降させます。
- (2) ハンドルを左側へいっぱい (約 90°) に操作してエンジンを停止します。



- (3) ローリング軸のボルト、座金を外して、溝切機をローリング軸から抜き取ります。



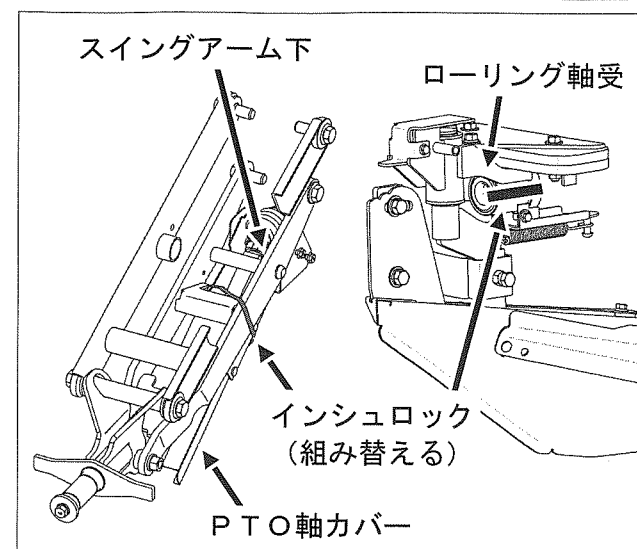
- (4) (3) で外したボルト、座金をローリング軸に組み付けます。



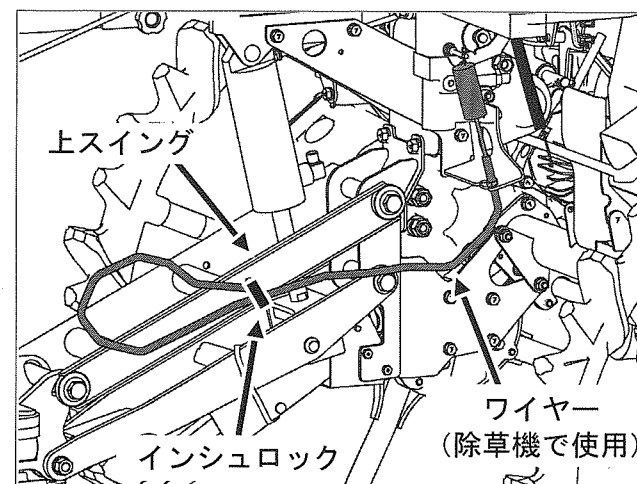
- (5) 除草機に組み替える場合は、PTO 軸カバーとスイングアーム下を固定しているインシュロックを外し、溝切機のローリング軸受のボールベアリングに通してゆるく留めます。(インシュロックの紛失防止) 除草機に組み替えない場合は、インシュロックは外しません。

**重要**

- PTO 軸カバーをインシュロックで吊る時は、スイングアームを下にし、PTO 軸カバーが軽く動く程度に吊るようにしてください。
- PTO 軸カバーを吊った時は、スイングアームを上げ・下げして、PTO 軸カバーとスイングアームが強く当たらないか確認してください。



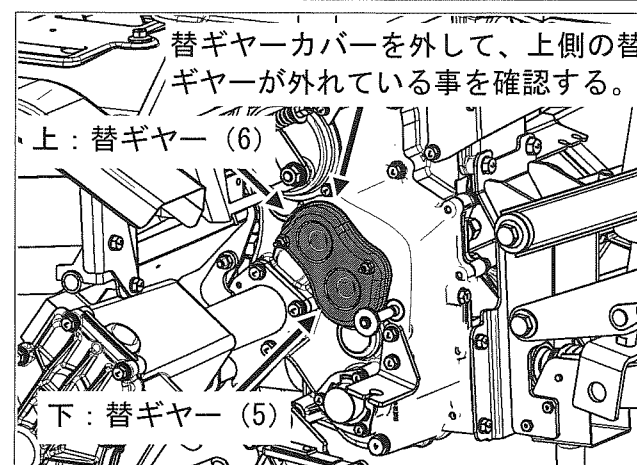
- (6) 除草機に組み替える場合は、上スイングに固定しているワイヤーの先端を除草機に組み付けます。除草機に組み替えない場合は、ワイヤーの先端は固定しておきます。(溝切機ではこのワイヤーは使用しません) ワイヤーが周辺部品に挟まれる等、損傷する可能性があるため適宜固定してください。



- (7) エンジンが停止していることを確認し、替ギヤカバーを外して、上側の替ギヤが外れていることを確認します。替ギヤカバーを元通りに組み付けます。

**重要**

- 除草機に取り付ける場合は、除草機に組み替えた後に、上側に 6 番の、下側に 5 番の替ギヤを組み付けます。



- (8) 溝切機を組み付ける場合は、取り外し方と逆の手順で行います。

■ 1 条型溝切機の取り外し方・組み付け方 (MZ T 1 の場合)

- (1) 田植機走行部に搭載した場合は、植付部との組み換えはしません。
- (2) 組み付けは購入先にて行うようにしてください。

## 作業前点検

故障を未然に防ぐには、本製品の状態をよく知っておくことが大切です。  
作業前点検は毎日欠かさず行なってください。

### ⚠ 危険

- くわえタバコなど火気厳禁で行なってください。

### ⚠ 警告

- 平たんな広い場所に置いてください。
- エンジンを停止してください。
- 駐車ブレーキをかけてください。
- 作業にあったキチンとした作業着を着用してください。だぶついた服装は回転部に巻き込まれやすく危険です。
- ヘルメット・滑りにくい靴を着用し、必要に応じて、安全靴・保護メガネ・手袋などを着用してください。

### ⚠ 注意

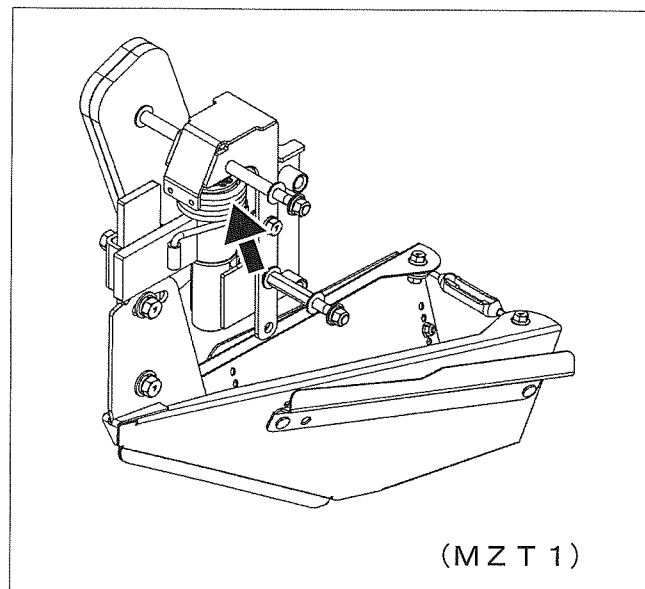
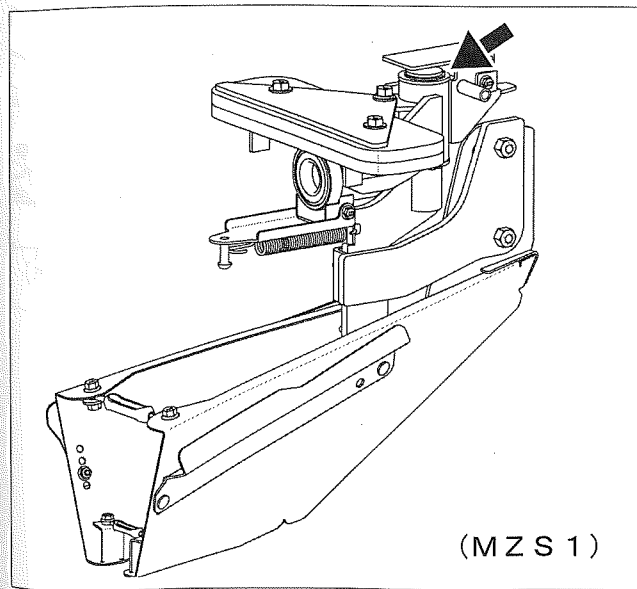
- 溝切機を作業部固定フックレバーで固定してください。

## 注油箇所の点検と補給

### ■注油箇所

(1) 次の箇所はシーズン毎にグリスを注油してください。

①溝切板取付部の支点



## 運転のしかた

### ⚠ 警告

- 室内でエンジンを始動するときは、窓を開けて換気をじゅうぶんに行なってください。換気が悪いと排気ガス中毒を起こし大変危険です。
- 作業にあったキチンとした作業着を着用してください。だぶついた服装は回転部に巻き込まれやすく危険です。
- ヘルメット・滑りにくい靴を着用し、必要に応じて、安全靴・保護メガネ・手袋などを着用してください。
- 本書には溝切機を搭載する走行部の運転操作要領は記載していませんので、運転前には必ず走行部の「取扱説明書」をよく読んでください。

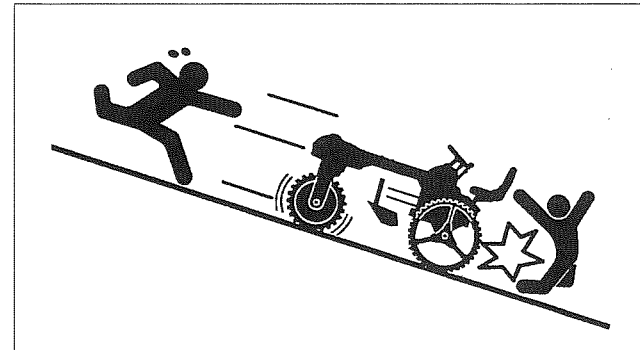
### ⚠ 注意

- 始動する前に安全カバー類が取り付けられていることを確認してください。
- エンジンを始動するときは、周囲の人に声をかけ、合図してください。
- エンジンを始動するときは、各レバー類の位置と周囲の安全を確認してから行なってください。これを怠ると急発進したりして大変危険です。

## 移動・運搬のしかた

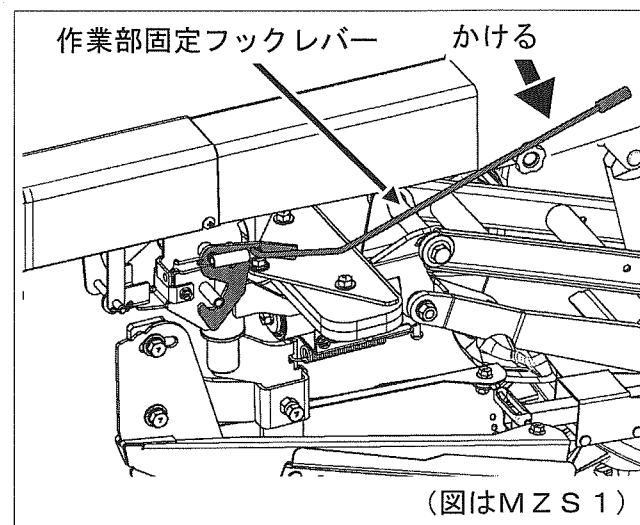
### ■発進・停止時の注意

- (1) 発進する時は、周囲の安全を確認して、ゆっくり発進してください。急発進すると、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。また機械を停止し機械から離れる時は、必ずエンジンを止めて、駐車ブレーキをかけてください。
- (2) 止める場所は平たんな所で、地面が硬い広い場所を選んでください。機械が自然に動き出したりして大変危険です。



### ■移動時の注意

- (1) 溝切機が下降しないように、作業部固定フックレバーを「かける」に操作してください。
- (2) ほ場との高低差が15cm以上ある場合は、出入の際に必ずアユミ板を使用してください。使用しなかった場合は横転事故の原因になり大変危険です。また、溝切板が地面と接触して、機械の破損の原因になります。



### ■トラックへの積み・降ろし時の注意

積み・降ろし作業を行なう際は、強度・幅・長さのじゅうぶんあるスリップしないアユミ板を使用してください。また、アユミ板はトラックの荷台から落ちないように確実にセットしてください。これを怠ると転落事故の原因になり大変危険です。

溝切機は作業部固定フックにかけ、走行部の油圧レバーを「止」にしてください。

#### <アユミ板の基準>

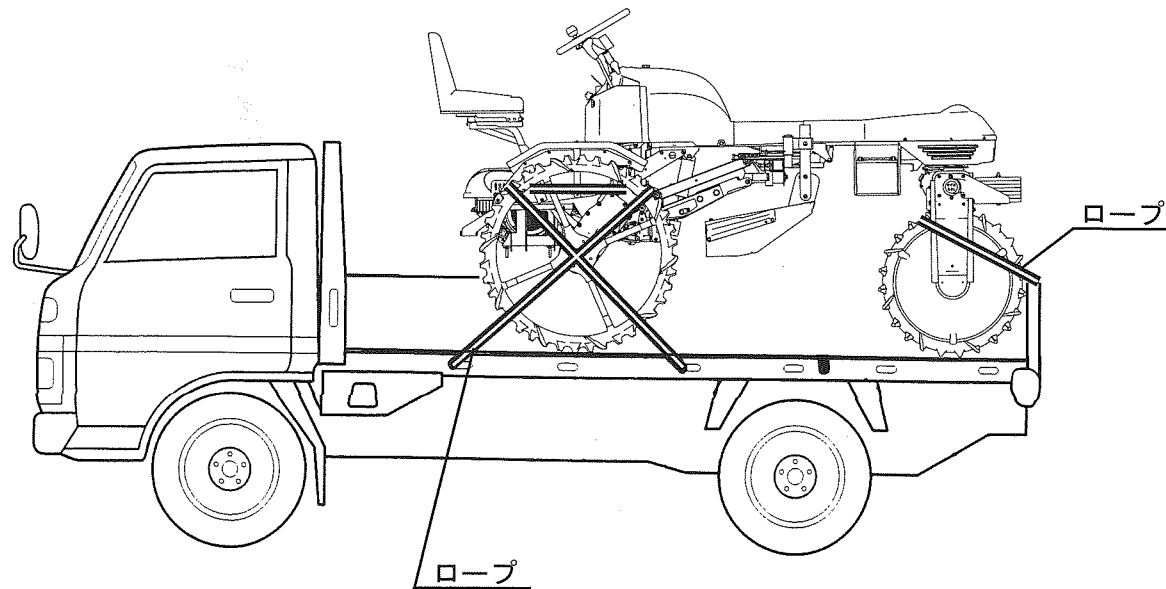
- 長さ：車の荷台の高さの4倍以上
- 幅：30cm以上
- 数量：3枚
- 強度：1枚の強度が500kg以上の質量に耐えるもの
- すべり止めのあるもの

### ■運搬時の注意

機械をトラック等で運搬する場合は、必ず機械本体をロープで荷台に確実に固定してください。運搬中は運転に注意し、不必要な急発進・急ブレーキ・急ハンドル等はしないでください。機械が移動して大変危険です。また長距離を運搬する場合は、安全のために途中でロープのゆるみ等を確認してください。

#### 重要

- 溝切機は強い力でロープ掛けしないでください。
- 悪路は低速で運搬してください。



## 作業のしかた

### ほ場の管理・作業条件について

- (1) 代かきは丁寧に高低差を少なくしてください。
- (2) 溝切時期は地域やほ場条件によって異なりますが、植付後、約1～2カ月の間に行なってください。
- (3) 溝切作業時にはほ場表面に0～2cmの水を入れてください。溝切板への泥の付着が少なくなります。
- (4) 本製品は4条以上の田植機で植付を行なったほ場で使用してください。3条以下の田植機で植え付けたほ場では溝切機の走行跡が合わず欠株の原因となります。

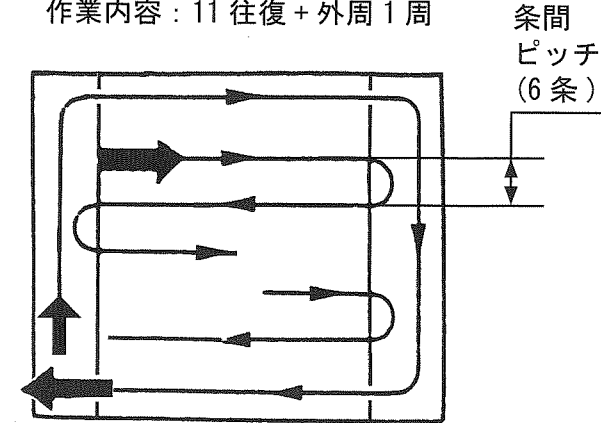
#### 重要

- 土が硬すぎたり、粘土質の傾向が強いほ場では走行不能になります。
- 田植機が走行不可能になったほ場ではこの溝切機は使用できません。
- 奇数条田植機（5条、7条等）で植え付けたほ場では、溝切機の後輪が片側だけはまり込み、溝切作業が出来ない、または欠株になることがありますので注意してください。

### ■作業能率（概略）

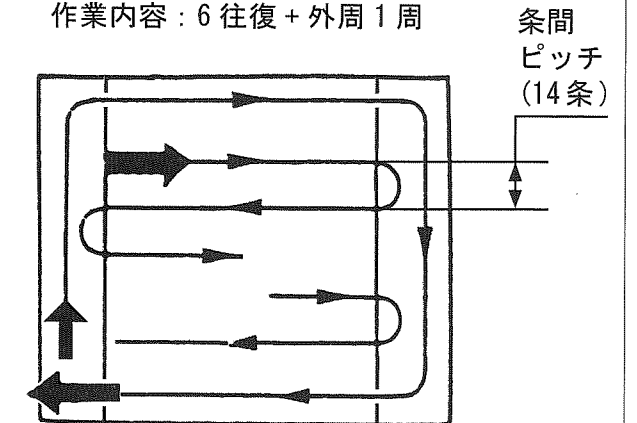
#### 作業例①：35～45分

ほ場面積：約30a（55m×55m）  
作業内容：11往復+外周1周



#### 作業例②：20～30分

ほ場面積：約30a（55m×55m）  
作業内容：6往復+外周1周

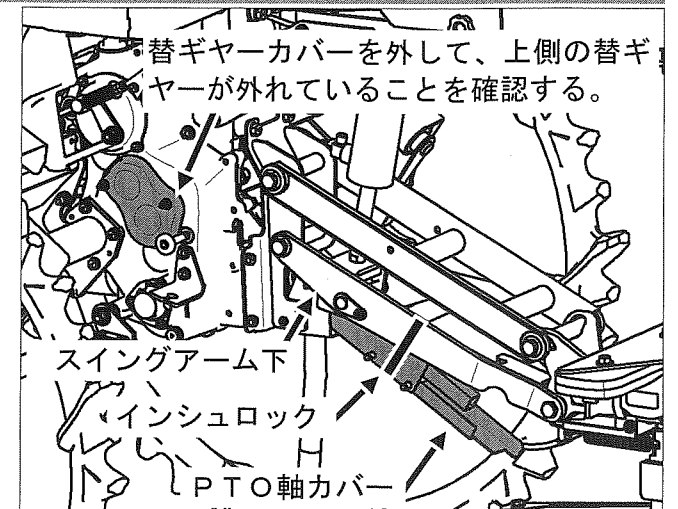


### 作業前の準備

- (1) エンジンを停止し、替ギヤカバーを外し、替ギヤが外れている事を確認します。
- (2) PTO軸、PTO軸カバーが、インシュロックでスイングアーム下に吊られていることを確認します。
- (3) 必要に応じて、溝切機の調節をします。

#### 重要

- 溝切作業時に前輪が持ち上がる場合は、オプションの前輪ウエートを装着してください。
- 替えギヤを外さずに溝切作業をすると、機械の破損の原因になります。



溝切作業の手順

**警告**

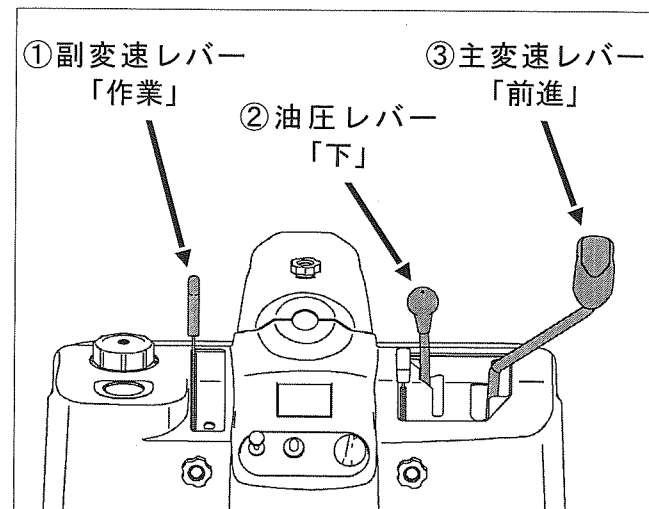
- 夜間作業は行なわないでください。思わぬ事故を起こす恐れがあります。
- 後進する時、後方に川(用水路)やがけのある場合は転落しないようにじゅうぶん注意してください。
- 本書には溝切機を搭載する走行部の運転操作要領は記載していませんので、運転前には必ず走行部の「取扱説明書」をよく読んでください。

**注意**

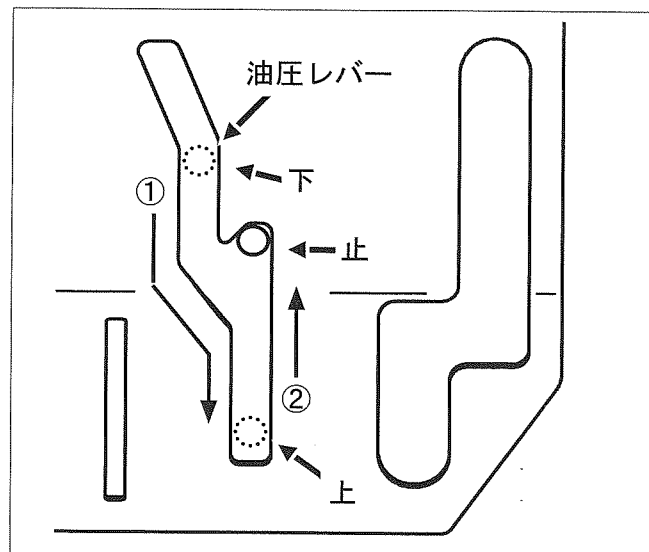
- 補助者と共同作業を行なうときは、お互いにじゅうぶん注意・合図をし合って安全に作業を行なうようにしてください。
- 異常が発生した時や、各部の調節を行なう時はエンジンを必ず止めてください。

■ KE3 シリーズ、RXD4、RXE4 に搭載した場合

- (1) 溝切作業は、田植機が通った工程と同じ工程を通して作業します。
- (2) 副変速レバーを「作業」にしてください。
- (3) 油圧レバーを「下」にしてください。溝切機が下降します。
- (4) 主変速レバーをゆっくり前に操作してください。
- (5) 少し走行したら、一旦作業を中断し、必要に応じて下記の調節をしてから連続作業をします。
  - (i) …溝切板の高さ調節 (P6 参照)
  - (ii) …溝切板の角度調節 (P6 参照)
  - (iii) …ウエートの調節 (P7 参照)
  - (iv) …溝切板の幅調節 (P7 参照)
  - (v) …溝切側板の高さ調節 (P7 参照)

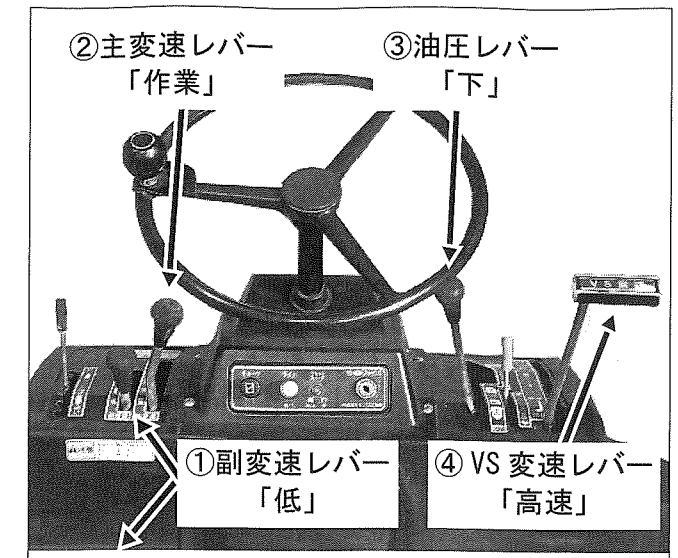


- (6) 溝切板がほ場に沈み過ぎる場合は、右図の様に油圧レバーを「上」へ操作して、溝切機を任意の位置まで上昇させてください。その後は「止」にしてください。

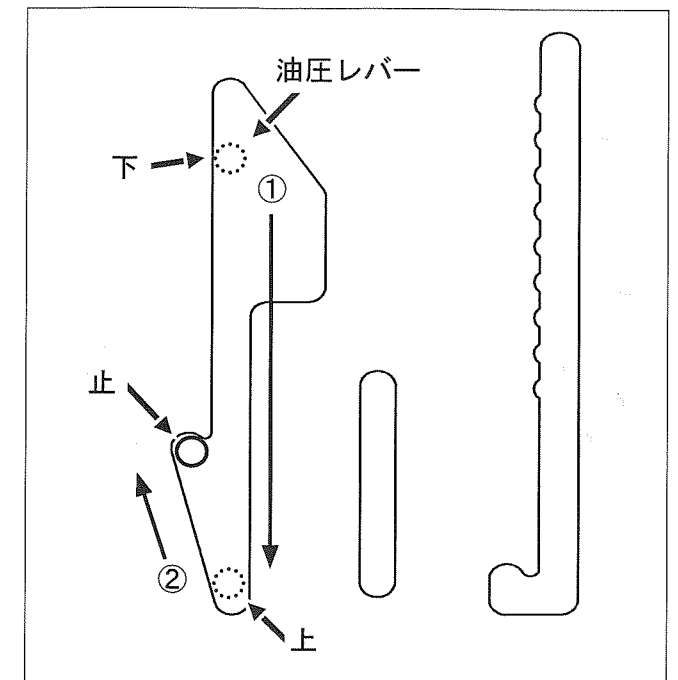


■ RX4 シリーズ、LRM4 シリーズに搭載した場合

- (1) 溝切作業は、田植機が通った工程と同じ工程を通して作業します。
- (2) 副変速レバーを「低」にしてください。  
※RX4、LRM4 は主変速レバーの左隣にあります。RX40、RX41、RX410、LRM40、LRM410 はパネルカバーの下側にあります。
- (3) 主変速レバーを「作業」にしてください。
- (4) 油圧レバーを「下」にしてください。溝切機が下降します。
- (5) VS 変速レバーをゆっくり「高速」側に操作してください。
- (6) 少し走行したら、一旦作業を中断し、必要に応じて下記の調節をしてから連続作業をします。
  - (i) …溝切板の高さ調節 (P6 参照)
  - (ii) …溝切板の角度調節 (P6 参照)
  - (iii) …溝切板の幅調節 (P7 参照)
  - (iv) …溝切側板の高さ調節 (P7 参照)

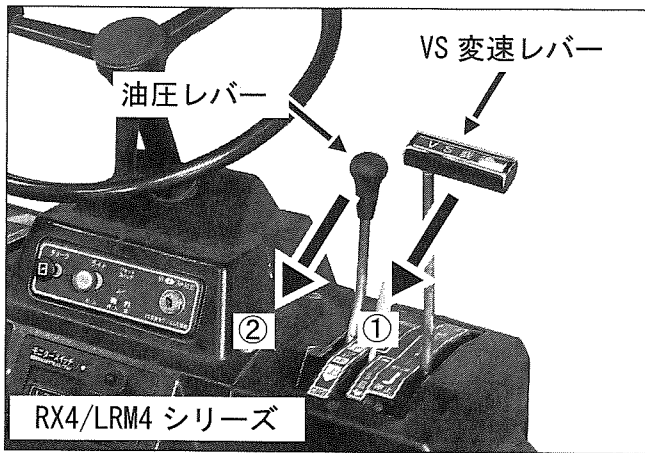
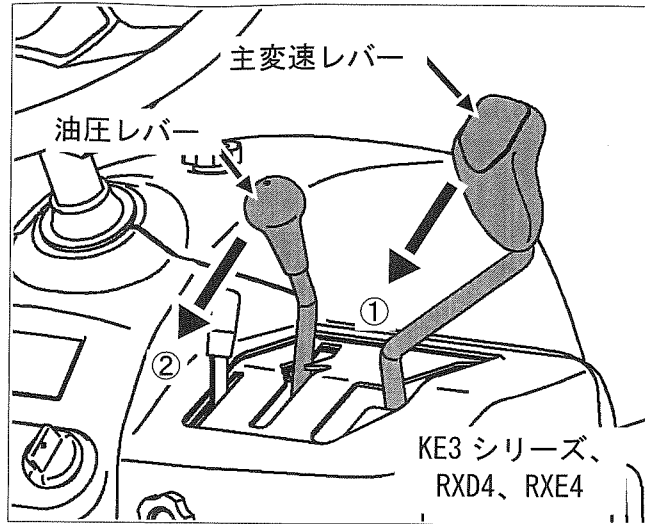


- (7) 溝切板がほ場に沈み過ぎる場合は、右図の様に油圧レバーを「上」へ操作して、溝切機を任意の位置まで上昇させてください。その後は「止」にしてください。



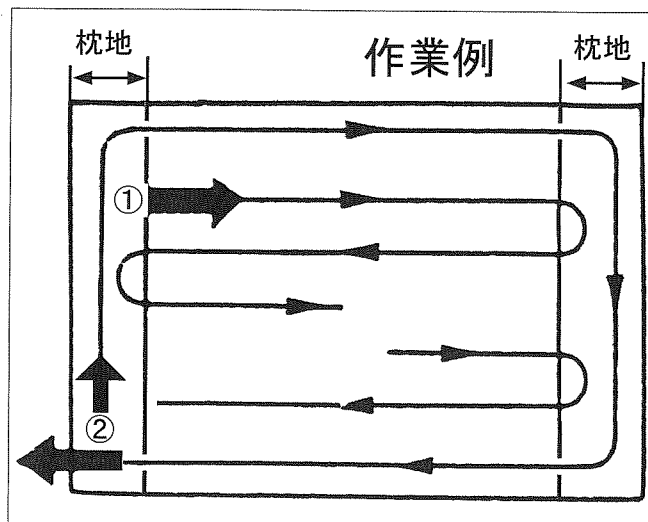
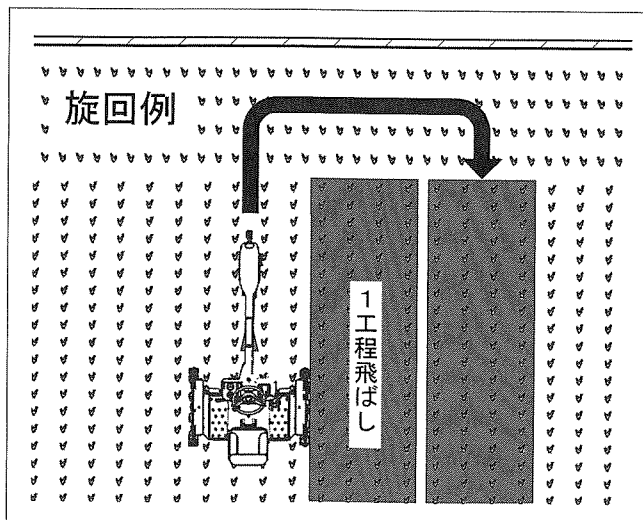
旋回のしかた

- (1) あぜに近づいたら主変速レバーを「中立」にします。  
※RX4/LRM4シリーズは、VS変速レバーを「停止」にします。
- (2) 油圧レバーを「上」にして、溝切機を上昇させます。
- (3) ハンドルを操作して旋回します。
- (4) 旋回後に条間を合わせて、油圧レバーを「下」にします。
- (5) 機体の中心と稲列を合わせて作業を続けます。
- (6) 溝切作業は基本的に田植作業と同じ要領で行いますが、旋回時は溝切機を上昇させなくても溝を成形できます。その場合は後輪で成形した溝を踏まないように注意してください。



重要

- 田植機と同じ工程を走行するのが基本ですが、ほ場の状態に合わせて最適な旋回を行なうようにして下さい。
- 畦ぎわで条合わせを行なった所では作業条数が合わないのので、この溝切機では作業を行わないでください。
- 油圧レバーを「PTO入」にしないと、主変速レバーを「後進」にしてもバックリフト機能は作動しません。(KE3、RXE4以外に搭載した場合は、バックリフト機能はありません。)
- 溝切機がほ場に接地したまま、走行部を後進させないでください。泥の抵抗で機械の破損の原因になります。



点検整備

定期点検

定期点検は、ユーザーが定期的に行なう点検です。本製品は、使用時間と使用状況に応じて劣化が進み、その構造や装置の性能が低下します。これを放置すると故障や事故の原因となり、ひいては本製品の寿命を短くしてしまいます。本製品の持つ性能がいつまでもじゅうぶん発揮できるよう、定期的に点検を行ないましょう。

警告

- 廃棄物をみだりに捨てたり焼却すると、環境汚染につながり、法令により処罰されることがあります。
- 廃油・ゴム類・その他の有害物を廃棄または焼却するときは、購入先または産業廃棄物処理業者などに相談して、所定の規則に従って処理してください。
- 作業にあったキチンとした作業着を着用してください。だぶついた服装は回転部に巻き込まれやすく危険です。
- ヘルメット・滑りにくい靴を着用し、必要に応じて安全靴・保護メガネや手袋などを着用してください。

注意

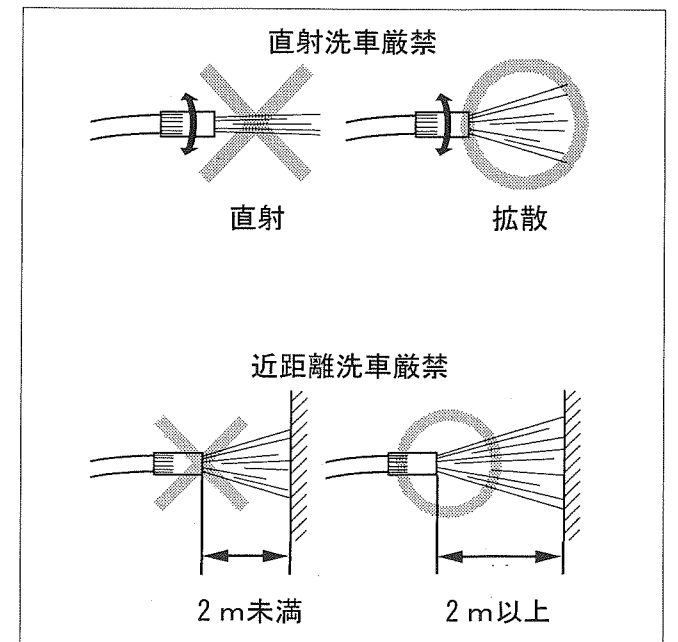
- 各部の点検・調節・交換作業を行なうときは、平坦な場所で駐車ブレーキをかけエンジンを必ず止めてから作業をしてください。
- 溝切機を上げた状態で作業を行なうときは、作業部固定フックレバーを「かける」にして溝切機を固定して作業を行なってください。

洗車時の注意

高圧洗車機の使用方法を誤ると人をケガさせたり、機械を破損・損傷・故障させることがありますので、高圧洗車機の取扱説明書・ラベルに従って、正しく使用してください。

重要

- 直射にしたり、不適切に近距離から洗車すると、機械の破損・損傷・故障の原因になります。  
例：シール・ラベル、塗装・メッキの剥がれ



作業後の手入れ

作業終了後は、機械の点検・整備を怠らず翌日または、翌年の作業に備えてください。

■毎日の作業後



**危険**

●掃除するときは、必ずエンジンを停止してから行なってください。

- (1) 平たんな場所に溝切機を搭載した走行部を止めます。
- (2) 水洗いをして機体各部の泥などを取り除いたあと、必要に応じて各部に注油を行ないます。(P10参照)
- (3) 格納場所に格納します。
- (4) 溝切機をフックにかけます。
- (5) メインスイッチを「切」にしてエンジンを停止します。
- (6) メインスイッチのキースイッチを抜き取ります。
- (7) 駐車ブレーキをかけます。

■長期格納時

シーズンが終了して翌年まで長期間使用しないとき、格納する前に各部の点検・整備を念入りに行なってください。

●各部の掃除・注油と補修

機体を平たんな場所に止めて下記事項を行なってください。

- 水洗い後、ゴミ・水滴をじゅうぶんふき取り、油をしみこませた布で清掃してください。
- 各グリスの塗布箇所にはグリス、注油箇所には注油を行なってください。
- 溝切板など、錆びやすい所にはグリスを塗ってください。
- 各部のゆるみを調べ、増し締めを行なってください。

サービス資料

■主要諸元

型 式 名		みのるMZS1	みのるMZT1
機 体 寸 法	全 長 (mm)	510	510
	全 幅 (mm)	300	260
	全 高 (mm)	460	570 (RX4シリーズに搭載した場合) 630 (LRM4シリーズに搭載した場合)
機 体 質 量 (重量) (kg)		16	20
溝 切	溝 切 条 数 (条)	1	1
	溝 切 り 深 さ (mm)	120~150	120~150
作 業 速 度 (m/s)		0~1.2 (KE3に搭載した場合)	搭載した走行部による
作 業 能 率 (分/30a)		20~ (P13参照)	20~ (P13参照)
搭 載 可 能 機 種		KE3シリーズ	RX4シリーズ ('96~)、 LRM4シリーズ、 RTX30、RXD4、RXE4

■標準付属品

次の部品が付属していますのでご確認ください。

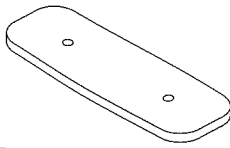
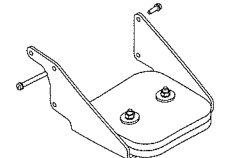
- 取扱説明書 \_\_\_\_\_ 1
- 保証書 \_\_\_\_\_ 1
- 取扱警告マーク \_\_\_\_\_ 1 (MZS1のみ)

■主な消耗部品一覧表

場所	品名	部品番号	備考
溝切板	溝切板CP	MZS1-10007	
溝切板	溝切側板(左)(右)CP	MZ1-12102LR	

■注文部品の紹介

オプションとして下記のを準備していますので、用途に応じてご購入の上ご利用ください。ご購入にあたっては機械の購入先にご相談の上、ご使用ください。なお、取り付けは必ず購入先で行なってください。

形 状	品 名	部 品 番 号	備 考
	溝切機ウエート 小形ボルト "	MZ1-11103 BTHS1060-7(2本) BTHS1075-7(2本)	2.5kg/個 1枚追加の場合 2枚追加の場合 (MZS1のみ)
	前輪補助ウエイト関係	-	詳細は搭載機種 の純正部品表による

## 純正部品を使いましょう

---

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。  
市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や機械の寿命を短くする原因になります。

## 純正アタッチメントを使いましょう

---

純正アタッチメントは、いちばんよくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。  
市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。



# みのる産業株式会社

本 社 工 場	〒 709-0892	岡山県赤磐市下市 447 TEL.(086)955-1123 (代) FAX.(086)955-5520
東 京 支 店	〒 337-0042	埼玉県さいたま市見沼区南中野 210 TEL.(048)683-9451 (代) FAX.(048)683-9452
長 野 営 業 所	〒 389-1104	長野県長野市豊野町浅野 582-4 TEL.(026)257-6530 (代) FAX.(026)257-6531
九 州 支 店	〒 818-0066	福岡県筑紫野市大字永岡 1020-1 TEL.(092)921-6006 (代) FAX.(092)921-6008

ホームページ <http://www.minoru-sangyo.co.jp>